

街路事業の再評価概要書

番 号

2

事業主体

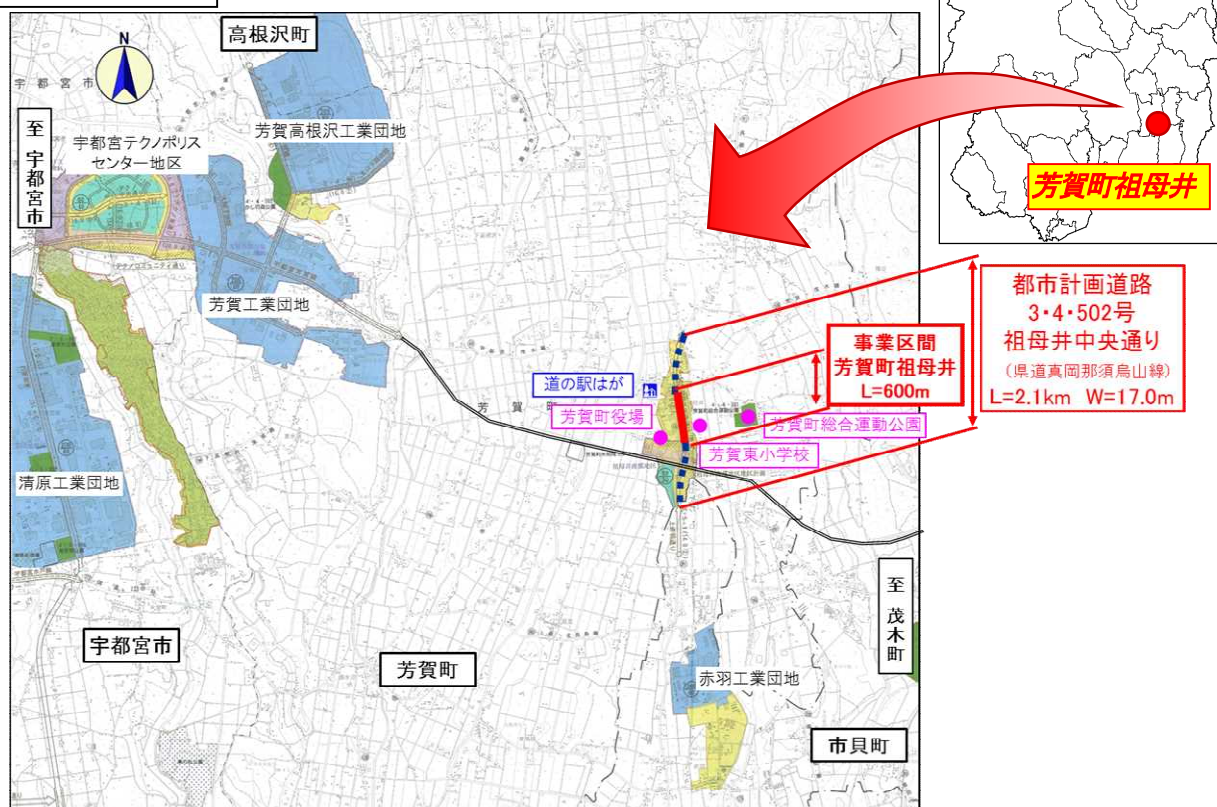
栃 木 県

()は、前回計画時

事業名	街路づくり事業		事業所管課	県土整備部 都市整備課	
路線・河川名	宇都宮都市計画道路 3・4・502号 祖母井中央通り うばが いちゅうおうどお		事業箇所名	はがまち うばがい 芳賀町 祖母井工区	
事業区間	芳賀町 祖母井地内		事業延長	600m	
H25年度 事業化		H13年度都市計画決定		H25年度 用地着手	H25年度 工事着手
事業期間	(R1年度) H25年度～R6年度		事業 進 捗 状 況	基準年次：【令和元年度末時点】	
[うち用地補償費]	[18.2(15.2)億円]			進捗率	
全体事業費	22.0(18.0)億円			[うち用地補償費] [14.0億円] [77%] 既投資事業費 17.0億円 77%	
事業概要			本都市計画道路は、芳賀町中心市街地を南北に縦断する延長約2.1kmの都市の骨格を形成する幹線道路であり、当該区間は主要地方道真岡那須烏山線に認定し栃木県が管理している。 本事業区間は、中心市街地部の住居系市街化区域に位置し、まちづくりや良好な都市環境を形成する交通の要所として重要な役割を担っている。 しかし、本事業区間は芳賀東小学校の通学路として利用されているが、歩道幅員が狭小であることに加え電柱が歩道内に立ち並んでいることから、通学児童の安全な通行に支障をきたしている。 このため、道路を拡幅し、歩道及び自転車の通行空間を確保することにより、安心・安全な道路環境を形成し、都市機能の向上を図るものである。		
事業を巡る社会経済情勢の変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等			・用地取得の状況を踏まえ、事業期間を見直すとともに、用地補償費等の精査の結果、全体事業費を見直した。		
事業の投資効果			① 費用対効果分析結果		
			【総便益(B)】		
1)事業全体 B/C＝ 1. 2			27.3億円		
2)残事業 B/C＝ 6. 4			27.3億円		
			【総費用(C)】		
			22.9億円		
			4.2億円		
② 事業の整備効果等			・歩行者と自転車の安全で快適な道路環境の形成 ・都市内交通の円滑化 ・土地区画整理と一体整備による沿道のまちづくり		
事業の進捗状況等			① 事業の進捗状況		
			・南側から事業を進め、平成30年度に延長600mの内320mを供用し、今年度はこれに続く110mの工事に着手。		
			② 今後の事業進捗の見込み		
			・残る区間については、土地区画整理事業とも連携し用地を取得した上で、順次、工事を推進し令和6年度を目標に事業完了を図る。		
コスト縮減等			① コスト縮減方策		
			・側溝を無蓋化にすることにより蓋板補修等の維持管理コストを縮減。		
			② 代替案立案等の可能性		
			・残る区間については、土地区画整理事業と一体的な整備を進めていることから代替案立案は困難である。 なお、既に約8割の用地を取得している。		
事業の対応方針(案)		本計画で事業を継続する。			

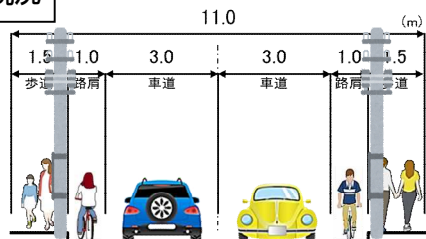
事業箇所（位置図・概要図）

位置図

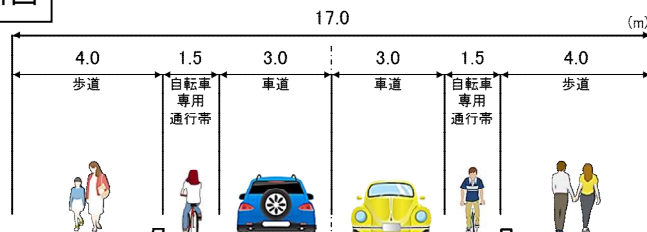


標準横断図

現況



計画



概要図





写真① 工区の北側 通勤時間帯の混雑



写真② 工区の北側 狭い歩道内に電柱が建っている状況



写真③ 工区の南側 整備済区間の状況